

今週（5月16日から5月20日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、新しい積み期に入ったことから様子見姿勢の参加者が多かったものの、レート目線が定まった後は前積み期と同様にしっかりと地合いとなった。無担保コールO/Nは、邦銀を中心に▲0.038～▲0.005%のレンジでの出会い。週初16日の無担保コールO/N加重平均レートは▲0.019%と、取り手の旺盛な調達意欲を背景に、前積み期に引き続き比較的高いレート水準での出会いとなった。17日以降も、オファーとビッドの水準に大きな変化は見られず、淡々とした出会いが続いた。20日は3日積みにあたるため取り上がりが予想されたものの、概ね横ばいでの出会いとなった。ターム物に関しては、主にショートタームでの引き合いが散見された。日銀当座預金残高は週を通して550兆円台前半で推移した。

●レポ市場

今週のGCT/Nは、▲0.15～▲0.10%出会いと幅広いレンジで推移した。週初は、新積み期序盤という要因や、週後半の入札を警戒してオファーサイドの様子見姿勢が強まり、レートは低下した。週後半は連日の入札実施によってオファーサイドの資金調達姿勢が強まり、レートは上昇した。

SCは、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、先週金曜日に実施された3M入札が強めの結果だったことが意識されてか、全ゾーンで底堅く推移する展開となった。

17日に実施された短国買入オペは前回と同額の5,000億円でオファーされ、やや弱めの結果となった。

19日に実施された1Y物の入札は強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。

20日に実施された3M物の入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットではしっかり推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、鉄鋼・石油等の一部の業態から大型発行が行われた結果、発行超のマーケットとなった。市場発行残高は先週に引き続き25兆円台前半で推移している。大型連休前に資金手当てを行った企業が多かったからか、前月末の残高である25兆3,500億円から大きい変動は見られていない。発行レートは、新型コロナオペの担保確保を目的とした積極的な応札が後退し、先週に引き続き、浅いマイナスから0%と狭いレンジで推移した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/16 (月)	26,547.05	0.240	128.95	△ 0.019	△ 0.102	5,543,200
5/17 (火)	26,659.75	0.240	129.34	△ 0.018	△ 0.146	5,544,000
5/18 (水)	26,911.20	0.240	129.31	△ 0.019	△ 0.119	5,547,500
5/19 (木)	26,402.84	0.240	128.40	△ 0.019	△ 0.107	5,527,800
5/20 (金)	26,739.03	0.235	127.76	△ 0.020	△ 0.105	5,547,000

来週（5月23日から5月27日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
5/23 (月)					
5/24 (火)		TB6M 32,000億円 5/25発行	流動性供給 5,000億円 5/25発行	交付税借入 13,000億円 6/2借入	4月の米新築一戸建て販売件数
5/25 (水)	日本銀行金融研究所主催2022年国際コンファランス において黒田総裁講演 月例経済報告（内閣府） 3月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				4月の米耐久財新規受注
5/26 (木)	4月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	40Y 7,000億円 5/27発行			1-3月期の米GDP改定値
5/27 (金)	5月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 59,000億円 5/30発行			4月の米個人所得・消費支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/23 (月)	500	▲ 15,300	▲ 14,800	国債補完 CP買入	1,400 ▲ 200		1,200	▲ 13,600	TB3M発行▲59000償還54500 20Y発行▲12000
5/24 (火)	▲ 1,000	1,000	0				0	0	
5/25 (水)	▲ 1,000	4,000	3,000	社債買入 全店共通	▲ 5,100	1,000	▲ 4,100	▲ 1,100	TB6M発行▲32000償還34000 流動性供給▲5000 国有林野事業借入▲631期日590
5/26 (木)	▲ 1,000	14,000	13,000				0	13,000	地方貸し
5/27 (木)	▲ 1,000	3,000	2,000	新型コロナオペ	▲ 69,200		▲ 69,200	▲ 67,200	40Y発行▲7000
週間合計	▲ 3,500	6,700	3,200	—	▲ 73,100	1,000	▲ 72,100	▲ 68,900	

5/23は日銀予想、5/24以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、取り手が多く、引き続きしっかりと地合いが予想される。レポ市場は、GC T/Nは、入札が複数回実施されることもあり、オファーサイドの資金調達姿勢が強まり、▲0.10～▲0.085%程度とレート上昇が予想される。短国市場は、24日に6M物、27日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。CP市場は、26日にCP等買入オペが4,000億円で実施予定となっている。根強い売却需要を受けて直近の按分レートは5回連続で上昇しており、按分レートがどの程度で決着するのか注目される。

主要なイベントは、特段予定されていない。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入